主要項目別索引

法人税	3 月決算法人のためのグループ子会社再建・ 整理の税務 Q&A 子会社株式の評価損等3112
	税制改正項目のポイント総チェック 上場有
H10以後取得建物の時価を旧定率法で算定す	価証券等の評価損3113
る是非3097	
中古資産への資本的支出と耐用年数3101	▶特殊支配同族会社
減価償却・耐用年数 Q&A 建設車両等の	特殊支配同族会社の役員給与の損金不算入制
取扱い(3)3103	度は22年4月決算法人から廃止に3096
税制改正項目のポイント総チェック 減価償	最後の申告22年3月決算法人向け「特殊支配
却制度3111	同族会社申告書作成ツール09」3107
減価償却・耐用年数 Q&A 改正通達 2 年	『特殊支配同族会社申告書作成ツール09』使
目における中間製品の取扱い3114	用方法3108
減価償却・耐用年数 Q&A 建設車両等の	東京地裁 特殊支配同族会社に係る税制は憲
取扱い(4)3116	法違反とする納税者の主張を棄却3115
▶リース	▶ 先行取得土地等
実務家のための新リース税制 Q&A ~リー	税制改正項目のポイント総チェック 平成21
ス物件を購入した場合の償却資産税3099	年及び22年に土地等の先行取得をした場合
	の課税の特例3114
▶特別償却・税額控除	
30万円未満の少額減価償却資産の損金算入な	▶寄附金
ど中小特例は2年延長へ3096	審判所 消却株式の適正な譲渡対価の額は時
情報基盤強化税制の廃止と中小企業等基盤強	価純資産額を基に算定3103
化税制の拡充3107	3 月決算法人のための指定寄附金一覧(21年
情報基盤強化税制廃止と繰越控除3107	4月1日~22年3月31日)3113
税制改正項目のポイント総チェック 研究開	完全親子会社間の寄附の対象になり得る受贈
発促進税制3109	益・寄附金の益金・損金不算入3117
税制改正項目のポイント総チェック 中小企	知財高裁 ソフトウェア譲渡代金巡る税務訴
業関係税制3110	訟で納税者支持の逆転判決3117
税制改正項目のポイント総チェック 税額控	
除・特別償却3111	▶ 役員給与等
東京局文書回答 獣医業の医療用機器も特別	役員退職給与の支払日基準による損金算入と
償却の対象に3111	損金経理3109
特定農産加工業者の行う税額控除は資本金	分掌変更と役員退職金3110
3,000万円以下に限定3112	税制改正項目のポイント総チェック 役員給
エネ革税制21年度分の申告から即時償却可能3113	与制度3115
	業種別・資本金階級別にみる役員賞与・役員
▶有価証券評価損	給与の額の一覧3118
審判所 子会社株式の評価損の計上は認めら	
れないとした事例3099	▶組織再編・資本取引等
	米国 SRLY ルールと繰越欠損金3098

<税務相談>法人税 資本金と資本金等の額	3 月決算法人のためのグループ子会社再建・
を減少させるための方法とその処理等3099	整理の税務 Q&A 子会社への資金援助等3110
東京地裁 最初連結親法人事業年度の開始日	法人税申告書別表の作成のしかた 別表十一
の合併による青色欠損金を否認3101	(一) 個別評価金銭債権に係る貸倒引当金
TOB に係るみなし配当特例は本年末まで延	の損金算入に関する明細書3112
長し廃止に3101	解散による期限切れ欠損金算定で期首利益積
清算所得課税の廃止3101	立金マイナスは使用可3112
清算所得課税廃止により期限切れ欠損金の利	3 月決算法人のためのグループ子会社再建・
用範囲を拡大3103	整理の税務 Q&A 子会社株式の評価損等3112
東京局 文書回答事例 株式移転に伴う設立	法人税申告書別表の作成のしかた 別表十一
親会社の新株予約権も税制適格に3103	(一の二) 一括評価金銭債権に係る貸倒引
期限切れ欠損金の算定方法3104	当金の損金算入に関する明細書3113
テーマ 債権放棄・債権償却等を行う場合	<税務相談>法人税 「法的整理の事実」に
の債権者の税務3104	よる金銭債権の評価損の可否等3114
21年度法基通改正 法的整理に係る金銭債権	3 月決算法人のためのグループ子会社再建・
の評価損の扱い等3105	整理の税務 Q&A 子会社の清算等3114
連結子法人株式の譲渡及び連結子法人の解散	適格現物分配による資産の譲渡と残余財産の
により連結納税を離脱する場合の税務処	確定による申告期限の関係3115
理~連結親法人等が行うべき投資簿価修正	100%子法人の解散による未処理欠損金の引
及びその後の税務処理~3105	継制限額と「支配関係事業年度」の関係を
期限切れ欠損金の利用 清算年度各期で実質	整理3116
債務超過が要件3105	【ビジュアル版】解散に係る青色欠損金の引
清算所得課税廃止も清算に係るみなし事業年	継ぎパターン3116
度は存置3105	破産による解散とみなし事業年度3117
テーマ 債権放棄・債権償却等を行う場合	適格合併時の青色欠損金「引継ぎ制限の有
の債権者の税務3106	無」判定基準が明確化3117
日本版" SRLY ルール "の仕組み3106	青色欠損金引継ぎに係る「支配関係」は形式
完全支配子会社の清算では親会社が子会社欠	基準で判定3117
損金引継ぎ3106	組織再編税制の適格の範囲が一部改正3118
解散時の欠損金利用は青色,期限切れの順3106	残余財産「確定した日」は個別判断3118
清算所得課税廃止と仮装経理法人の解散3107	適格合併後の連結導入,開始前なら被合併法
10月以降の適格合併による連結繰越欠損金は	人の繰越欠損金全額利用可能3119
限度超過額計算の対象3107	欠損金の引継ぎ 支配関係継続期間は被合併
期限切れ欠損金の利用は残余財産の有無を各	法人・解散法人の最後事業年度終了の日に
清算事業年度末に判断3108	対応して規定3120
テーマ 債権放棄・債権償却等を行う場合	特別清算3120
の債権者の税務3108	
完全支配関係子会社の株式消滅損の経過措置…3109	▶ グループ法人税制
黒字倒産による解散と清算所得課税の廃止3109	法人税に「グループ法人単体課税制度」を導
期限切れ欠損金の利用は実態貸借対照表上の	入,グループ間取引に係る新制度は22年10
債務超過が要件,時価は「処分価格」によ	月1日から適用3096
る方向3110	グループ法人税制の中小特例の制限は大法人
	に係る100%孫会社等も対象に3098

グループ法人税制と連結納税制度との共通点	別表四の社外流出3114
と相違点3099	本誌オリジナル誌上座談会 資本に関係する
海外親法人の100%子法人も一つのグループ	取引等に係る法人税制の大改正(上)3115
に3100	法人による完全支配関係での減価償却資産の
グループ税制の個人の範囲は同族関係者と同	低廉譲渡を時価で受入れ 受贈益相当額含
様 法人間で資本関係ない場合もグループ	め償却可能3115
法人税制の対象に3101	「法人による完全支配関係」は各々の法人間
グループ法人税制「完全支配関係」の判定は	で判断3115
連結納税と同様に3102	損益繰延べ事業年度に完全支配関係を有しな
グループ法人税制の譲渡損益調整資産の繰延	くなった場合,譲渡損益調整資産の繰延べ
べの仕組み3104	及び戻入れの両方を処理する方向3116
平成22年度税制改正で導入されるグループ法	本誌オリジナル誌上座談会 資本に関係する
人税制の概要3105	取引等に係る法人税制の大改正(下)3116
グループ法人税制と措置法の中小特例3105	譲渡損益調整資産も固定資産の譲渡時期取扱
医療法人もグループ法人税制の対象に3106	いは変わらず3118
グループ法人・連結グループ内の組織再編税	親会社は利益積立金額と子会社株価を修正3119
制に係る重要改正事項を図解3108	【ビジュアル版】グループ税制「法人による
グループ法人間の譲渡損益調整資産の戻入れ	完全支配関係」の範囲3119
額の計算方法3110	グループ法人 譲渡損益調整資産を譲渡した
負債利子控除の基準年度が変更 受取配当等	場合の「通知」3120
の益金不算入制度に係る簡便法基準年度が	配当計算期間の中途で完全支配関係が生じた
改正3111	場合の受取配当等3120
平成22年度改正に係る法人税別表が公表,	
「受贈益の益金不算入」は社外流出3111	▶企業再生等
法人税申告書別表の作成のしかた 別表八	経産省「事業再生に係るDES研究会報告
(一) 受取配当等の益金不算入に関する明	書」を公表,税務上の時価の評価方法を提
細書3111	案3100
低廉譲渡・高額譲渡の取扱いは連結納税と同	「事業再生に係る DES 研究会報告書」(抄)
様に グループ法人税制の譲渡損益調整資	(22年1月)3100
産の課税繰延べ額の取扱い3112	企業再生税制適用場面において DES が行わ
グループ法人税制は中小企業も強制適用,支	れた場合の債権等の評価に係る税務上の取
配関係や取引の把握が急務3112	扱いについて(文書回答・22年2月22日)3104
【ビジュアル版】みなし50%超直接支配関係3113	国税庁 文書回答で DES 対象債権の評価方
グループ法人税制「寄附金の全額損金不算	法を整理3104
入」改正の影響 子会社支援損等の取扱い	税制改正項目のポイント総チェック 企業再
に変更なし3113	生税制の改正3112
株主の相続税等に影響する寄附はグループ法	
人税制の対象外3114	▶排出クレジット
損益繰延べは譲渡時に完全支配関係があれば	国内クレジットの取引に係る法人税の取扱い
適用3114	について(文書回答・22年3月26日)3110
グループ法人税制では支配関係を系統的に示	国税庁 国内クレジット取引に係る法人税の
す図を添付する必要 事業年度中に出資関	取扱いで文書回答3112
係が変動する場合にはその旨記載も3114	

▶ 通達等	三
国税庁 法人税基本通達を一部改正3098	所 得 税
法人税基本通達等の一部改正について(法令	▶ 源泉所得税
解釈通達 () 課法 2 - 5 他,21年12月28日)…3098	源泉徴収口座の赤字申告失念と繰越控除3102
法人税基本通達等の一部改正について(課法	東京地裁 外国人漁船員の手配会社への支払
2 - 5 他,21年12月28日)(租税特別措	いに非居住者源泉徴収3104
置法関係通達の抜粋)3100	最高裁 ホステスの報酬の控除計算は期間全
	日数で 高裁に差戻し3105
▶ 交際費等	海外に出向する社員に係わる一連の税務3107
東京高裁も遊園施設の優待入場券を交際費等	
と判断3111	▶税額控除・所得控除
口蹄疫被害取引先への義援金・支援と交際費	子ども手当創設で15歳以下の扶養控除を廃
等の関係3120	止,日本版 ISA で特例創設3096
	扶養控除の廃止と限界税率3097
▶ その他	審査事例 定期預金を無断で払戻しされたこ
資料 法人税基本通達等の主要改正項目3098	とから生じた損失は横領には当たらず雑損
持分のある医療法人とない医療法人3100	控除の対象にならないとした事例3098
10月法人税法3105	雑損控除と災害減免法3100
税理士損害賠償事故例と予防対策ケース・ス	早生まれは損? 23年以降の扶養控除の扱い
タディ 113 事前確定届出給与に関する	で同級生に" 差 "3111
届出書3106	【ビジュアル版】控除対象扶養親族3118
<税務相談>法人税 資産除去債務と砂利採	
取跡地の埋戻し費用の処理等3106	≫確定申告・年末調整
中小企業倒産防止共済法の改正で損金算入掛	5 年均等償却の失念と更正の請求3099
金額が拡大3107	編集部特別企画 平成21年分所得税確定申告
法人税額の損金不算入3109	のポイントチェック3102
第二次納税義務制度について 徴収法39条の	確定申告特集ページで電子申告が完了! ア
適用を中心に3111	イコン増やし納税者の利便性を改善した e
医療法人の出資巡る事件で最高裁が定款の解	-Tax3102
釈示す3113	所得税の延納3104
親会社による罰科金の肩代わり3116	所得税の確定申告の期限3106
連結納税制度に関する改正の概要について3117	国税庁 21年分の所得税等の確定申告状況3116
法人税申告書の添付書類3117	東京局 平成21年分所得税等の確定申告状況…3116
重要資料 汚染土壌対策に要する費用に係る	関信局 21年分所得税等の申告状況3117
法人税法上の取扱いについて(福岡国税局	
文書回答・22年 3 月26日)3118	▶通達等
<税務相談>法人税 棚卸資産の評価方法の	国税庁 一人親方の報酬の取扱いの新通達と
変更等に伴う会計と税務の処理3119	Q&A を公表3097
法人格の存続と租税債務3119	大工,左官,とび職等の受ける報酬に係る所
平成22年度税制改正シリーズ 法人税法の改	得税の取扱いについて(法令解釈通達)
正について〈上〉3120	(課個5-5,21年12月17日)3097
災害と資産の評価損等3120	

大工,左官,とび職等の受ける報酬に係る所	住宅取得等資金の贈与税の非課税特例と土地
得税の取扱いに関する留意点について(情	等3100
報)3097	
	▶小規模宅地特例
▶ その他	小規模宅地特例,定期金権利の評価方法を一
所得税法56条と必要経費不算入3099	部見直し3096
エコカー補助金と事業所得の計算で注意3101	小規模宅地特例 居住等非継続の宅地を50%
定期借地権の保証金に係る経済的利益3102	評価減対象から除外3099
保険契約者は"棚からぼたもち"?3106	小規模宅地特例見直しで50%評価減は貸付事
就職支度金3108	業用宅地だけに3104
生命保険相互会社の株式会社化 契約者への	小規模宅地特例 適用対象宅地と対象部分を
株式・現金は一時所得に3108	明確化3114
最高裁 移転補償金の特例めぐる事件で課税	小規模宅地特例の見直しと相続対策への影響3114
処分認めた原判決を破棄・差戻し3110	家なき子3118
通勤交通費込みの給与支給3115	小規模宅地適用の相続税対策は見直しも3120
トピックス Q&A 小規模企業共済・中小企	
業退職金共済の改正 Q&A3115	▶株価表・基準年利率等
小規模共済の加入者範囲の見直し3116	株価表(21年9・10月分)3097
現金主義会計の特例3119	基準年利率(21年10~12月分)3100
改正小規模企業共済法は23年1月施行3120	株価表(21年11・12月分)3100
	基準年利率 (22年 1 ~ 3 月分)
資産税	
資産税	▶通達等
事業継承税制(納税猶予)	「租税特別措置法(相続税法の特例関係)の
中企庁 税制改正対応する円滑化法省令の改	取扱いについて」(法令解釈通達)の一部
正でパブコメ3104	改正のあらまし(情報)(住宅取得等資
経営承継円滑化法省令がパブコメ経て改正3111	金贈与の500万円特例関係)3099
	「教育用財産に対する相続税の非課税制度に
▶財産評価	おける幼稚園事業経営者に係る家事充当金
<税務相談>資産税 一次相続における未分	限度額の認定基準等について」の一部改正
割宅地に係る小規模宅地等の評価減3105	について(法令解釈通達)(課資2-2,
定期金権利評価の改正と契約変更3110	22年 2 月22日)3108
清算所得課税の廃止で純資産価額方式の評価	国税庁「事業承継税制」質疑応答事例を公表…3109
方法にも影響?3111	
	▶譲渡所得
▶住宅取得等資金贈与特例	少額株式投資の非課税措置は22度税制改正で
国税庁 住宅資金贈与500万円の非課税特例	創設,24年から口座開設3098
で通達あらまし3098	< 税務相談 > 資産税 短期保有土地等類似株
住宅取得等資金贈与の特例は期限延長して非	式等の譲渡所得3100
課税枠を拡充3099	合計取得金額と上場株式等の繰越控除3103
平成21年分贈与税申告がスタート「住宅取得	特定居住用買換えに2億円以下の価額要件復
等資金贈与の500万円非課税特例」は明細	活,分割譲渡は合計額に注意3104
書添付した申告が必要3100	

非上場株の納税猶予制度 確認不要経過措置	国税庁 消費税法基本通達等を改止,調整対
の期限近づき申請が増加3104	象資産売却しても一般課税3113
特定口座内での上場株式等の配当所得と譲渡	消費税法基本通達等の一部改正について(法
損失との損益通算 配当基準日までに源泉	令解釈通達)(課消1-9他,22年4月1
徴収選択口座の手続きが必要3105	日)3113
【ビジュアル版】特定口座における上場株式	郵便切手と消費税3115
等の配当所得と譲渡損失の損益通算3107	調整対象固定資産の購入と免税・簡易課税選
PTS3111	択の制限3116
最高裁 建築する意思欠くとして譲渡所得特	税理士損害賠償事故例と予防対策ケース・ス
例認めず3113	タディ 114 保税地域から引き取る課税
関信局 現物出資時の不動産鑑定料の譲渡費	貨物にかかる消費税額控除を失念した事例…3116
用算入で文書回答3116	<平成22年度税制改正シリーズ > 登録免許税
居住用財産の買換え特例の譲渡価額要件は贈	関係の改正について3117
与含めて判定3117	消費税法改正で一般課税3年間の継続が強制
居住用財産特例の買換資産は先行取得土地特	されるケースも3117
例との併用も可能3119	たばこの手持品課税3118
▶ その他	
関信局 平成20事務年度の相続税の調査事績…3096	地方税
21年分の所得税・贈与税の申告書様式等が公	個人住民税の住宅ローン控除適用者の申告不
表3096	要措置
定期借地権の平成21年分適正利率3102	平成22年度分償却資産の申告期限2月1日3098
<税務相談>資産税 代償分割により取得し	住民税の住宅ローン控除ツール"22年度
た資産の物納・相続税の取得費加算3109	版 ", 申告不要措置と従前申告制度との控
定期金権利の評価 受取人等の変更は新規契	除額の違いを比較3100
約とみなし新法24条で評価3109	グループ法人税制は地方税に自動影響3101
国税庁 平成20年分相続税の申告事績3115	個人住民税"住宅ローン控除申告書対応ツー
東京局 平成20年分相続税の申告事績3115	ル22年度版 "活用マニュアル3101
<税務相談>資産税 居住用家屋とその敷地	【ビジュアル版】個人住民税の住宅ローン控
の所有者が異なる場合の3千万円控除の特	除制度と退職所得
例等3116	地方税法等の一部を改正する法律案(平成22
財産評価基本通達の一部改正(立木の標準価	年度税制改正法案)要綱
額)(課評2-12,5月14日)3117	グループ法人税制と地方法人二税3107
展入(株計 2 - 12 , 3万17日)	無償増資と法人事業税資本割
	平成の大合併の終了と地方税
消費税等	外形標準の資本割は利益の資本組入れによる
【ビジュアル版】仕入控除税額の調整措置3098	無償増資が加算対象3112
消費税の事業者免税点制度見直しで課税事業	国民健康保険税3114 平成22年 3 月決算法人のための法人事業税及
者の強制適用期間を延長	
登録政治資金監査人が作成する「受取書」に	び地方法人特別税の確定申告について3115
係る印紙税法上の取扱いについて(文書回	最高裁 国家賠償請求を行い得るとして原判
答・22年 2 月22日)3106	決を破棄,名古屋高裁に差戻し3118
消費税の課税事業者と株式割当て3112	

全国47都道府県786市の法人住民税率・事業	外国子会社配当等に係る外国源泉税は事業税	
税率を調査3119	でも損金不算人	.3108
全国都市法人住民税率・事業税率の一覧3119	日本と香港の租税協定が基本合意	.3110
	【ビジュアル版】外国関係会社に該当しなけ	
F 1847 - F 114	れば特定外国子会社等には該当しない	.3111
国際課税	平成22年3月決算法人向け 外国子会社等か	
タックスヘイブン税制のトリガー税率を20%	らの受取配当に係る各種規定の適用判定	
に引き下げ3096	ツール	.3112
最高裁 ガーンジー島の税を外国法人税に該	タックスヘイブンに対する情報提供要請	.3112
当すると判断3097	行政取極により外国当局との情報交換可能に	.3113
トリガー税率3097	法人税申告書別表の作成のしかた 別表八	
新" 日蘭租税条約 "基本合意で匿名組合契約	(二) 外国子会社から受ける配当等の益金	
の利益分配は源泉地課税3098	不算人に関する明細書	.3114
税理士先生のための国際課税入門シリーズ第	日本・スイス租税条約に情報交換規定	.3116
12回 中国組織再編税制に関する Q&A 3098	税理士先生のための国際課税入門シリーズ	
外国子会社配当益金不算入制度(配当免税制	第14回 中国来料工場を持つ日本親会社の	
度)に関する Q&A(22年1月)3099	タックスヘイブン対策税制に関する Q&A	.3117
「外国子会社配当益金不算入制度(配当免税	外国子会社配当益金不算入申告の留意点	.3118
制度)に関する Q&A 」を公表3099	実務で使う「平成22年度税制改正(国際課税	
戦力アップのための国際税務の基礎知識3101	関係)」のポイント解説	.3118
平成22年度税制改正大綱(国際租税)のやさ	国税庁 課税部長会議で統括国税実査官(国	
しい解説3101	際担当)の設置取組み結果を報告	.3120
孫会社の合算対象所得の二重課税を調整3101		
税理士先生のための国際課税入門シリーズ第	我知识不 一	
13回 日本法人の中国における PE 課税に	税制改正全般	
関する Q&A3102	平成22年度税制改正大綱	.3096
税理士先生が知っておきたい租税訴訟の基礎	平成22年度税制改正大綱を閣議決定	.3096
知識 ガーンジー島事件の最高裁判決を題	租特透明化法案も通常国会で提出,23年4月	
材として3103	期申告から適用額明細書	.3096
租税条約の改正で情報交換規定の国際標準化	脱税犯への罰則強化など納税環境整備	.3096
が顕著に3104	平成23年度税制改正で特殊支配にかわる二重	
外国子会社から受ける配当の計上時期3106	控除解消の抜本的措置等を講じる方針	.3097
最近の国際税務事例について 外国子会社配	平成22年度税制改正大綱の一部改正について	.3097
当益金不算入制度を中心に3107	税制調査会 専門家委員会の立ち上げを確認	.3099
税制改正項目のポイント総チェック 外国子	税調 専門家委員会メンバーと PT 設置を決	
会社配当益金不算入制度3107	定	.3101
平成22年度税制改正(国際課税関係)のやさ	鳩山内閣 税制改正法案を国会提出	.3102
しい解説3107	所得税法等の一部を改正する法律案(平成22	
平成22年度税制改正(国際課税関係)のやさ	年度税制改正法案)要綱	.3102
しい解説3108	租税特別措置の適用状況の透明化等に関する	
【ビジュアル版】外国子会社配当の計上時期	法律案要綱	.3102
の変更3108	「地方税法等の一部改正案」も国会へ提出	.3103
	22年度税制改正法案が衆議院で可決	.3105

23年までに法制措置講じるとした21年改正法	会計基準適用会社の経理担当者のための税効
附則104条3105	果会計の実務処理ケーススタディ(実務
税制調査会 有識者による専門家委が始動3105	編) 減価償却3107
3月24日に22年度税制改正法が成立3108	民間4団体が中小企業会計指針の改正草案3107
所得税法施行令,法人税法施行令,相続税法	子会社株式の消滅損の繰延税金資産 取崩し
施行令,消費税法施行令,租税特別措置法	日は改正税法公布日で判断へ3112
施行令等の一部を改正する政令要綱3109	税効果会計と実効税率3113
平成22年度税制改正 政省令の公布でグルー	東京都排出量取引 会計上は排出クレジット
プ法人税制はじめ諸制度の詳細が明らかに3109	使用時点で費用に3113
政府税調 PT 認定 NPO 法人に対する寄附	企業会計基準のポイントと会計処理実務の留
の見直し案3110	意事項42<会計上の変更及び誤謬の訂正に
税調専門家委員会に「国際課税小委」3111	関する会計基準及び適用指針 >3114
租特透明化法省令で「適用額明細書」様式3113	税効果会計の実務処理ケーススタディ(実務
金融庁「金融税制研究会」23年度改正要望へ	編) 「特別償却」3118
論点整理3117	現代税務・会計ニュースのキーワード第41回
菅政権下の税調で税制抜本改革の議論本格化	< 初心者のための会計基準のコンバージェ
^3120	ンス >3119
政府税調専門委「議論の中間的な整理」報告…3120	
重要資料 「議論の中間的な整理」の要約	公 益 法 人
(税制調査会・専門家委員会 / 22年 6 月22	公益 法 八
日)3120	公益法人の会計・監査・税務 会計編 平成
	20年基準の財務諸表~公益法人を目指す法
企業会計	人向け3097
正来云山	実務家のための公益法人制度改革のポイント
会計基準適用会社の経理担当者のための税効	第19回 遊休財産額 公益社団法人の社員
果会計の実務処理ケーススタディ(実務	名簿の閲覧請求への対応3098
編) 棚卸資産の評価損3097	公益法人の会計・監査・税務 会計編 平成
会計基準のポイントと会計処理実務の留意事	20年基準の財務諸表~移行認可を目指す法
項40<引当金に関する論点の整理>3099	人向け3101
IFRS 対応会議 非上場会社会計基準の策定	実務家のための公益法人制度改革のポイント
へ向け懇談会3101	第20回 移行認定申請書類の記載例<公益
固定資産の耐用年数変更時の臨時償却は今後	目的事業 >3103
申告調整が必要に3102	実務家のための公益法人制度改革のポイント
中企庁 「中小企業の会計に関する研究会」	第21回 移行認定申請書類の記載例(公益
を立ち上げ3103	目的事業)3106
現代税務・会計ニュースのキーワード第40回	公益法人の会計・監査・税務 会計編 特例
初心者のための会計基準のコンバージェ	民法法人に関する留意点3108
ンス3104	実務家のための公益法人制度改革のポイント
企業会計基準のポイントと会計処理実務の留	第22回 移行認定が不認定となり再申請等
意事項41 < 収益認識に関する論点の整理 >3105	を行うにあたり検討すべき事項3109
非上場会社会計基準の懇談会が議論開始3106	

実務家のための公益法人制度改革のポイント	日本公認会計士協会 新会長に山崎彰三日	モが
第23回 公益目的支出計画(その1)	就任へ	3110
Q&A 評議員会の招集通知に記載すべき議	租税に関する罰則	3111
題3112	中小企業白書2010年度版を公表	3113
実務家のための公益法人制度改革のポイント	会計士協会 試験制度の改革案を公表	3113
第24回 公益目的支出計画(その2)	平成21年度税理士登録者数は71,606人	3114
$\mathrm{Q\&A}$ 「他の同一の団体において相互に密	国税局長会議で加藤国税庁長官が訓示	3114
接な関係にある者」の範囲3116	孝橋宏国税不服審判所長インタビュー	3114
公益法人の会計・監査・税務 <会計編 特	国税庁 口蹄疫の被害で納税猶予等を周別	413115
例民法法人における会計監査(外部監	税理士先生が知っておきたい租税訴訟の	基礎
查)>3119	知識 租税争訟の概要(その2 訴訟	手続
実務家のための公益法人制度改革のポイント	等)	3116
第25回 公益目的支出計画(その3)	全国国税局調査査察部長会議を開催	3118
Q&A 特例民法法人が公益法人等に移行	税理士の7割が税理士用電子証明書	3118
した場合の役員の任期3120	判決速報(22年1月~3月分)	3118
	国税庁 平成21年度査察概要を公表	3119
納税環境・手続・その他	東京局 平成21年度における査察の概要を	を公
が北京場・丁が・その 地	表	3119
会計士試験の合格者数 今後減少する可能性	国税庁 徴収部長会議で内部事務一元化業	定着
も3096	に向け体制確認	3120
国税庁 全国国税局長会議を開催3102	国税庁 21年度不服申立て・訴訟の概要.	3120
判決速報(21年10月~12月分)3103	関信局 21年度査察の概要	3120
国税庁 平成20年度分の法人企業の実態3107		
役員報酬個別開示の内閣府令が3月31日施行…3109		
税理士先生が知っておきたい租税訴訟の基礎		
知識 租税争訟の概要(納税者の権利救済		
はどのようにしてなされるのか,その救済		
手続きにはどのようなものがあるのか)3109		